

出品作品作家名

- 石崎光瑠
- 菊池契月
- 竹内栖鳳
- 中村大三郎
- 福田平八郎

本展では、印象の代表作品に対して、テーマ、表現などで類似する他の画家による作品を併陳。

会期

平成15年

10月16日(木)~11月30日(日)

開館時間…午前9時30分~午後5時
(入館は午後4時30分まで)

休館日…月曜日(休日の場合はその翌日)

「柘榴」

特別企画展

主題と表現—堂本印象の個性



「定朝」



「羽風」

■美術館魅力探索

美術館の魅力を一緒に探してみませんか
◆11月2日(日)午前11時と午後2時からの2回

■特別講演会

◆11月3日(月)午後2時から別館にて
講師:星野桂三 氏(星野画廊主)

※特別行事は、いずれも観覧料のみでご参加いただけます。

観覧料…一般500円(400円)
高大生400円(320円)
小中生200円(160円)
()は20名以上の団体料金

京都府立
堂本印象美術館

京都市北区平野上柳町26-3 立命館大学正門前 TEL 075-463-0007

主催 / 京都府・(財)京都文化財団

「主題と表現—堂本印象の個性」

平成15年
10月16日(木)～
11月30日(日)



竹内栖鳳「水村」
京都市美術館 藏

多種多彩な表現にある、印象の世界。

堂本印象の画業が、広範かつ多様な展開を見せたのは周知の通りです。あらゆるジャンルの題材を様々な手法で描きこなした作品は、常に画壇で話題となり、当時の画家たちにも影響を与えましたが、この様な制作を支えたのは、豊富な知識に裏打ちされた、伝統に基づく卓越した技量でした。事実、印象は数多くの書物を読み、先達の作品を研究しながら、内外の新しい芸術表現への好奇心を常に持ち続けました。よって、印象の幾つかの制作に、先達の表現や同時代の作家による新しい表現の反映を観ることも、さして困難ではありません。しかし、様々な技法や表現の研究はその再現のためになされたのではなく、ましてや、印象の画業そのものも、画域の広さや画風の多彩さを習得することを目的にしたものではなかったはずです。

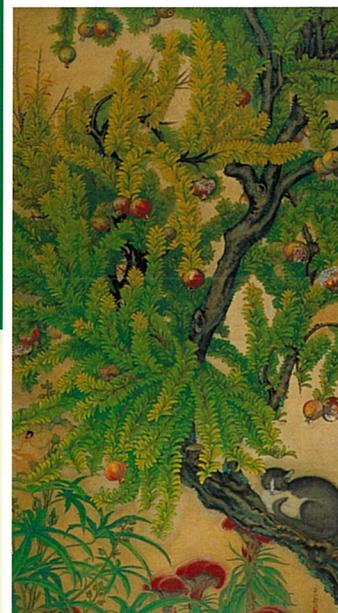
本展では、印象の代表作品に対して、テーマ、表現などで類似する他の画家による作品を併陳し、その相違を探ります。多種多彩な表現を取りながらも、印象が生涯一貫して探求したかったものを知る鍵が見つかるかもしれません。



中村大三郎
「黒衣女人像」



菊池契月「敦盛」
京都市美術館 藏



福田平八郎「安柘榴」
大分県立芸術会館 藏

美術館魅力探索——美術館の魅力を一緒に探してみませんか——

11/2日(日) 11時と2時からの2回

ようこそ印象の館へー当館は堂本印象が生前、自宅の隣に自らがこしらえた手造りの美術館です。少人数のグループ(5~6人)に分かれて、作品の鑑賞をしながら、普段は非公開の場所や見過ごしがちな館の隅々までを探索していただきます。

当館のボランティアがナビゲーターをつとめます。

- ・参加者には参加記念品(絵葉書、記念写真)を進呈します。
- ・開始時間の5分前までに直接受付に申し込んでください。

協力／堂本印象美術館生涯学習ボランティアグループ「きぬかけ会」

京都府立 堂本印象美術館

〒603-8355 京都市北区平野上柳町26-3 立命館大学正門前
TEL 075-463-0007 <http://www2.ocn.ne.jp/~domoto>



●交通機関

JR京都駅から市バス⑩、JRバス(立命館大学前経由)、阪急烏丸駅から市バス⑫⑯、京阪電車三条駅から市バス⑬⑭、JR円町駅から市バス⑮にて。
いずれも「立命館大学前」下車